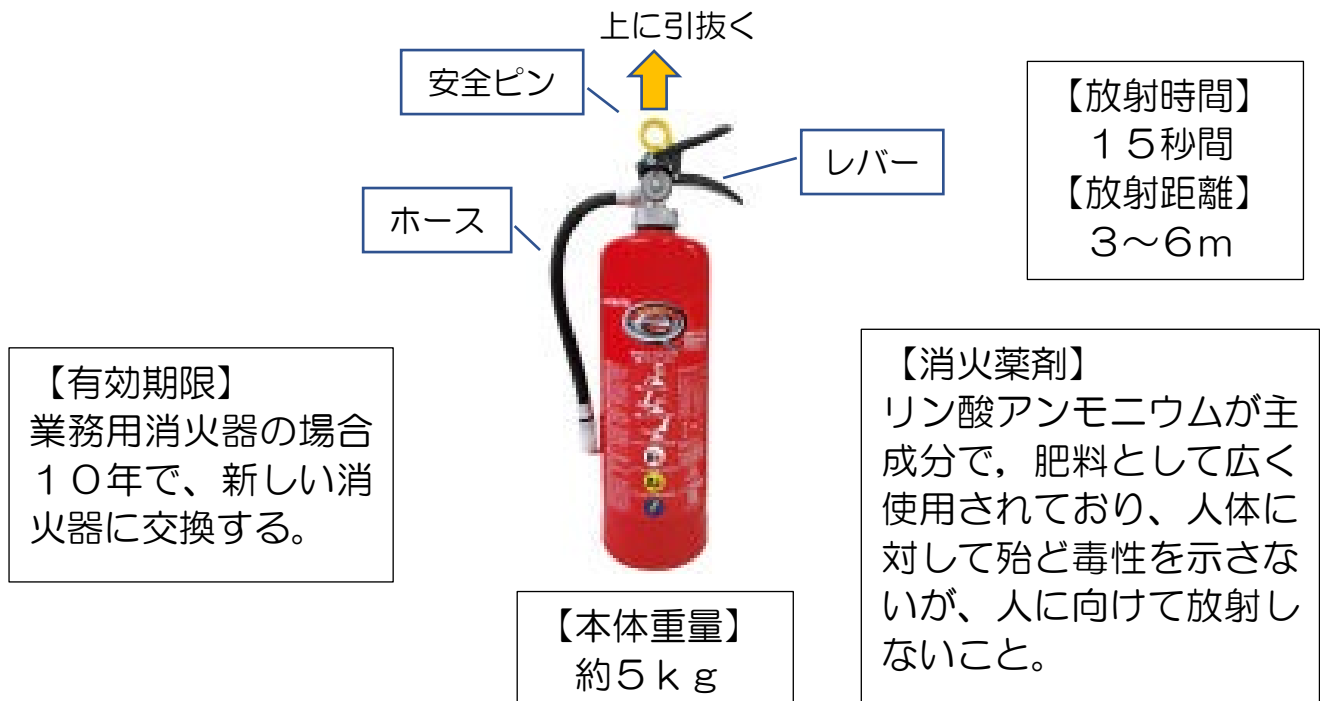


洛和会音羽記念病院に設置の消火器について

- 1 出火場所近くまで消火器を運ぶ。(3m~6m程度まで運ぶ)
- 2 安全ピンを上方に引き抜く。(この時、消火器を床に置くと操作しやすい)
- 3 ホースを外して火元に向ける。(利き手でホースを持つ)
- 4 レバーを握ると消火薬剤(粉末)が放射される。



【消火時の注意】

- 火元の手前からほうきでゴミを掃くように放射する。
- なるべく風上から放射する。
- 火に近づきすぎない⇒火がおさまるにつれて接近する。
- 薬剤は勢いよく放射されるので飛び散った油などで火傷しないよう注意。
- 消火器は垂直に操作する。斜めに持つと放射状態が悪くなる。
(絶対に逆さまにはしない)

【その他の注意】

- 消えなかった場合の避難口を確認しておく。
- 消火薬剤は粉末のため、換気の悪い場所では視界が悪くなる。
- // 、屋外では拡散して消火効果が下がる。
- 無理な消火はしない！ 天井に火がまわる場合は避難(退却)する。